

2019年

登録切断穿孔基幹技能者

試験問題（90分）

注意事項

- 1、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2、受講番号と氏名を解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 3、本冊子に落丁・乱丁・印刷不鮮明の個所などがあつた場合には、申し出ること。
- 4、答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 5、解答の方法は次のとおりとする。
正解と思うものを（1～4）の中から1つだけ選択し、解答用紙の番号に○印にて記入すること。2つ以上記入した場合は、誤答となります。
- 6、解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入すること。
- 7、解答用紙の受講番号・氏名を正しく記入していない者は、採点せずに0点とすること。

[問題作成]

ダイヤモンド工事業協同組合
登録切断穿孔基幹技能者試験委員会

問題 1

登録基幹技能者制度に関する「建設技能労働者の目標」について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、「将来の展望」が期待される。
- 2、「適正な評価」が期待される。
- 3、「処遇等の改善」が期待される。
- 4、「高齢技能者の定着」が期待される。

問題 2

登録基幹技能者の確保・育成・活用の意義と、【職業能力基準】について、空欄に入る語句はどれか。最も適切な番号に○印をつけよ。

職業能力基準案において、職業ごとに技能者のレベルを4段階に分類した上で、それぞれのレベルの（ イ ）、求められる（ ロ ）、技能、資格等について、各職種に共通して求められるものや（ ハ ）に求められるものを示したものとなっており、登録基幹技能者は、最上級のレベル4に位置づけられています。このように登録基幹技能者は、最高レベルの技能者であり、（ ニ ）や企業経営など、さらに高度なマネジメント分野で活躍していくことが期待されます。

イ	ロ	ハ	ニ
1、(施工管理)	(知識や技術)	(職種ごと)	(技能者像)
2、(知識や技術)	(職種ごと)	(技能者像)	(施工管理)
3、(職種ごと)	(施工管理)	(知識や技術)	(技能者像)
4、(技能者像)	(知識や技術)	(職種ごと)	(施工管理)

問題 3

建設業は製造業よりも安全対策が難しいと言われるが、その理由として次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、作業内容が、日々変化する。
- 2、多品種大量生産である。
- 3、資格者の配置がしにくい。
- 4、保護具が少ない。

問題 4

資材管理の目的について、() の中にあてはまる言葉のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

現場における資材管理の目的は (イ) に適合した品質の資材を (ロ) で発注し、現場の (ハ) ・状況に見合った数量ごとに順序よく指定した場所へ搬入し、それぞれの (ニ) 等に合わせた保管管理をして工事を円滑に運営することにある。

イ ロ ハ ニ

- | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 1、 | 規格・仕様 | 適正な価格 | 進捗・環境 | 資材の形状 |
| 2、 | 進捗・環境 | 適正な価格 | 企画・仕様 | 資材の形状 |
| 3、 | 規格・仕様 | 資材の形状 | 進捗・環境 | 適正な価格 |
| 4、 | 進捗・環境 | 資材の形状 | 企画・仕様 | 適正な価格 |

問題 5

工程管理の意義について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、工事の施工にあたっては、決められた工期内に所定の仕様図面等に基づいて工事を安全に仕上げていかなければならない。
- 2、施工活動をあらゆる角度から評価検討し、機械設備・労力・資材などを最も効果的に活用する方法と手段でなければならない。
- 3、工事の実行予算に見合って、最も能率的かつ経済的に工事施工を計画し、管理していかなければならない。
- 4、工程管理は一般に、完成期日を守る為だけを目的とされなければならない。

問題 6

価格戦略について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、ニッチャーは、価格の決定権を持っていない。
- 2、プライスリーダーが、コストリーダーになることはない。
- 3、値決めは、経営である。
- 4、フォロワーは、拡大路線の積極的、攻撃的戦略をとる。

問題 7

○J Tの「指導方法」 に関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、指導と仕事の与え方とは、深い関係がある。
- 2、指導の手法には「教える」「見習わせる」「経験させる」「自己啓発させる」とある。
- 3、指導で大切なことは、指示通り徹底してやらせることである。
- 4、指導で大切なことは、経験させることである。

問題 8

建設業の特徴について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、資本集約型の産業である。
- 2、屋外現地単品生産であり、自然現象の影響は受けない。
- 3、一般的に建設業は、製造業と比較して、時間・コストに対して厳しい。
- 4、内需型産業であり、現地調達・現地生産が原則である。

問題 9

作業改善の目標について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、 疲労の軽減・・・疲労は出来るだけ少なくする。
- 2、 経費の削減・・・現場では経費削減を考慮しないようにする。
- 3、 時間の短縮・・・作業は出来るだけ時間のかからないよう改善する。
- 4、 品質の向上・・・作業は出来栄が良くなるような方法に改善する。

問題 10

昭和36年の労働災害死亡者数を1とした時、平成29年死亡者数は0.11で9割近くも減少しました。労働災害減少の要因として、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、労働基準法の制定
- 2、安全に作業する為の機械・設備・工具の開発
- 3、現場安全活動の定着
- 4、作業手順書の整備

問題 1 1

原価管理について（ ）の中に当てはまる、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

原価管理の基本は、「正しいデータをつかみ、本当の実績と比較する」をすることであり、管理されて初めて有効になる。「管理」とは、（ イ ） ➡ （ ロ ） ➡ 実施原価と予定原価の（ ハ ） ➡ 利益確保のための作業改善・資機材ロスの削減などの対応策の（ ニ ） というサイクルを回すことである。

	（ イ ）	（ ロ ）	（ ハ ）	（ ニ ）
1、	計画	施工	比較検討	実施
2、	施工	計画	実施	比較検討
3、	比較検討	計画	実施	施工
4、	施工	比較検討	計画	実施

問題 1 2

登録基幹技能者に求められるOJT手法の「自己啓発」に関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、部下の自己啓発の意欲を促すものであり、成長する条件を考えることである。
- 2、知識の修得と体験の組み合わせをつくることであり、実施可能な指導方法である。
- 3、OJT手法においては、仕事の難易度等を踏まえ短期的な目標を定めて、それぞれ個別のバックアップすることが大切である。
- 4、指導・教育の基本は、部下が進んで自己啓発に励むように動機付けすることである。

問題 1 3

見積について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、建設業者は建設工事の請負契約を締結するに際して工事の内容に応じ、工事の種別ごとに材料費、労務費その他の経費の内訳を明らかにして、建設工事の見積を行うよう努めなければならない。
- 2、建設業者は、建設工事の注文者から請求があったときは、工事着工までの間に、建設工事の見積書を提示しなければならない。
- 3、見積に際しては、工事内容を技術的に施工における問題点等を検討した上で、施工方

法、プロセスをイメージすることによって適正に行うことが可能になる。

- 4、技術者は、工事の施工段階ばかりでなく、見積業務に携わることによって工事の受注に際しても、適正に役割を果たしていくことが重要である。

問題 14

登録基幹技能者に求められる能力について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、常に施工技術や施工管理に係る基本的知識と優れた技能を有し、かつリーダー役として、部下を間接的に指揮、監督することができる。
- 2、施工技術に係る基本的な知識を有し、工事の各作業工程を通じて的確に施工管理を行うことができる。
- 3、工事に関係する技術者及び他業種の職長とのコミュニケーションに気を配り、常に相互信頼の中で話し合いの雰囲気づくりができる。
- 4、指導者としての自覚を持ち、不測の事態の発生に対しても意欲的に取り組み、責任をもって問題を解決することができる。

問題 15

労働者が安心して働くために必要な制度である社会保険・労働保険に関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、健康保険と厚生年金保険については、法人の場合はすべての事業所について、必ず加入手続きを行わなければならない。
- 2、健康保険と厚生年金保険については、個人経営の場合でも10人以上の従業員を使用する限り、必ず加入手続きを行わなければならない。
- 3、雇用保険については建設事業主の場合、法人の場合労働者を1人でも雇用する限り、必ず加入手続きを行わなければならない。
- 4、社会保険の適用事業所に該当した場合は、事業者や労働者の意思にかかわらず強制的な加入が義務付けられている。

問題 16

工程管理の手順について、「計画の段階」・「実施の段階」・「検討の段階」・「処理の段階」の4つに分けることができるが、「実施の段階」で行われる内容はどれか、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、施工計画・工程計画・使用計画を立てる
- 2、作業量の管理・進度管理・手配管理
- 3、工事の指示・承諾・協議段階検査
- 4、是正処理

問題 17

一般材の発注手続きについて、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、一般材は、品目・サイズが多く、購入価格に変動のある資材も多いので単価契約等の処置をするために、品目別数量表を作成しておくが良い。
- 2、通常の市販品を使用する場合は、カタログ等で確認可能であるが、新製品やなじみの薄い資材については、見本品提出により確認を得るようにする。
- 3、購入に当たり作成した数量表の数量は、設計図に基づく見込み数量であり、施工に必要な数量は、作成された施工図により算出する必要がある。
- 4、搬入は現場の状況にもよるが、工程に応じ欠品を防ぐため、施工に必要な数量より多めに納入依頼するようにする。

問題 18

工事原価について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、建設機械等損料とは、建設機械等の償却費、維持修理費、管理費等、これらのライフサイクルコストを1時間当たり又は1日当たりの金額で示した経費である。
- 2、共通仮設費は、工事の施工において、共通的に必要な経費で具体的には、運搬費、準備費、安全費、施工管理に要する技術管理費、現場事務所等の営繕費等の費用である。
- 3、現場管理費は、工事施工において、工事監理を行う従業員の給料手当、現場労働者の交通費、安全訓練費等、現場従業員の法定福利費等の費用である。
- 4、一般管理費等とは、本社等にかかる必要な費用であり、営業利益は含まない。

問題 19

労働安全衛生法第26条で作業員が守らなければならない6つの義務に関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、安全状態を保つ義務
- 2、快適な職場環境の義務
- 3、安全措置を講じる義務
- 4、保護具の着用・使用義務

問題 20

品質管理に関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、品質管理とは設計図書及び仕様書に示された品質基準を十分満足するような工事目的物を最も経済的につくるための管理である。
- 2、高い品質は、発注者をはじめ、設計・監理者、ゼネコン、専門工事業者、材料供給業者の品質に関する考え方の共有が必要である。
- 3、品質に対する顧客満足度と顧客要求事項の程度が高ければ品質は高く、逆であれば品質は低くなるがコストは関係しない。
- 4、品質を構成する特性を「品質特性」と呼び、それを具体的な数字で表示したものを「品質特性値」と呼ぶ。

問題 21

施工に当たって工程、原価、品質の相互関連性に関する、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、工程と原価の関係では、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなるが、さらに施工速度を上げる突貫作業をすると逆に原価は高くなる。
- 2、原価と品質との関係では、原価を高くすると品質は下がるが、原価を低くすると品質は上がる。
- 3、品質と工程の関係では、品質の良いものは一般的に時間がかかり加工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がる。
- 4、工程、原価、品質との間には、相互に関連する性質があるのでこれらの調整を図りながら施工計画し管理することが必要である。

問題 22

労働安全衛生法について述べた、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、主として使用者と労働者という雇用関係を前提として、最低基準の確保に重点を置いた規制の仕方をしている。
- 2、特定建設業では、営業所ごとに資格、経験を持つ技術者を専任で置かなければならない。
- 3、労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を促進する事を目的とする。
- 4、事業者は危険防止、健康障害防止措置を職長の判断に任せればその責任を負わない。

問題 23

品質管理QCに関する、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、設計段階から一貫して顧客の要求条件を満たすようにコントロールするプロセスを品質管理と呼んでいる。
- 2、一般に品質管理とは『買い手の要求に合った品質の物またはサービスを経済的に作り出す』ことと定義される。
- 3、特性要因図とは、品質上問題となっている特性（結果）とそれに関係する要因（原因）の因果関係を魚の骨のような形に整理した図である。
- 4、パレート図とは、品質問題に関わる要因について、発生度数の低い順に並べ、各々の頻度をヒストグラムで、その累積の発生頻度を折線グラフで表現した図である。

問題 24

施工管理について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- 1、安全管理・環境管理は、企業倫理として優先する。
- 2、工程管理は、経済的な工期を確保するために工期延長もやむを得ない。
- 3、原価管理は、各管理の中でも最優先事項とする。
- 4、品質管理・工程管理・原価管理に相互関係性はない。

問題 25

施工終了後の検査に関する事項について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- 1、出来形管理では工事目的物が設計図書に示された形状、寸法を満足していること。
- 2、設計品質には「仕様規定」と「性能規定」がある。
- 3、品質は工程で造り込み、検査では造れない。
- 4、品質・精度より納期を最優先にする。